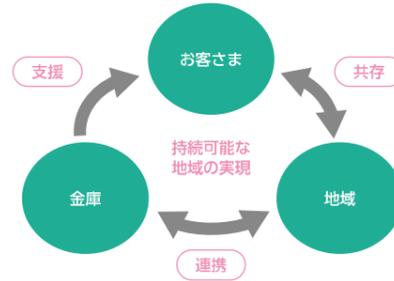


▶ へきしんのGX

気候変動対応はお客さまや地域および当金庫に影響を及ぼす経営の重要課題であると認識しております。当金庫は2022年4月にTCFD^(注)に賛同を表明し、地域のお客さまに向け、TCFDで提言されている「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の枠組みに沿って、気候変動に対する情報開示に努めてまいります。

当金庫が率先してGXに取り組むことで、お客さま・地域と一体となって、持続可能な地域の実現を目指します



ガバナンス

- 経営企画部内に「ESG推進グループ」を設置し、サステナビリティ課題に対する取り組みを強化しております。
- 金庫内の取組内容や進捗状況は役員会等で審議・報告を行うことにより、実効性を高める態勢としております。
- 気候変動への対応を組織横断的に協議するための態勢を整備してまいります。

戦略

1. カーボンニュートラルに対する取り組み

当地域の主要産業である自動車業界では特に、カーボンニュートラル(以下、CN)や電動化への対応が求められており、以下の項目が今後の事業活動に大きく影響する課題であると認識しております。

CNへの対応	CO ₂ の排出規制などの政策や規制強化によって、受注条件が厳しくなるなど、お客さまの事業がネガティブな影響を受ける可能性
電動化への対応	電気自動車の普及によって自動車の構成部品が変化し、お客さまの受注が影響を受ける可能性

そこで当金庫では、お客さまのCNへの移行をご支援する金融商品・ソリューションなどを提供しております。今後も、お客さまとのコミュニケーションを通じ、課題の解決に向けた取り組みを進めてまいります。

●お客さまのCN対応をご支援

CN対応に関するお客さまの課題について、「知る」「測る」「減らす」のステップに沿って、提携先の紹介による課題解決のご支援を推進しております。

〈紹介可能なサービスの例〉

CO ₂ 排出量算定・目標設定	CO ₂ 排出量削減計画支援	太陽光発電の導入	SBT認定取得支援	CO ₂ フリー電力の導入
----------------------------	---------------------------	----------	-----------	--------------------------

●地域社会との連携

地域の自治体等とも連携し、課題解決に対する取り組みを展開することにより、持続可能な地域社会の実現に貢献いたします。



トピックス

あいち脱炭素経営支援プラットフォームへの参画

環境省「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」並びに愛知県「あいち脱炭素経営支援プラットフォーム」に参画し、地域のお客さまへの省エネ診断支援や脱炭素に関する資格取得支援を行いました。

●令和5年度省エネルギー設備投資に係る利子補給金制度・「地域脱炭素融資促進利子補給事業」制度の取り扱い

本制度は、省エネルギー設備投資等の融資利息の一部が補給されるもので、令和4年度に続き、当金庫が指定金融機関として採択されました。

2. 炭素関連資産の状況

当地域はものづくりが盛んであり、製造業者が多い地域です。そのため、炭素関連資産のうち「素材・建築物」の割合が大きい傾向があります。お客さまのCNへの対応をご支援することで、気候変動への対応と更なる地域の活性化の両立を目指してまいります。炭素関連資産とは、一般的に温室効果ガスの排出量が比較的高いとされる業種に対する当金庫の与信残高のことです。

(当金庫の与信残高全体に占める炭素関連資産の割合) 2024年3月末時点

セクター	エネルギー	運輸	素材・建築物	農業・食料・林産物
割合	0.4%	7.8%	24.1%	1.6%

〔エネルギー〕石油・ガス、石炭、電力／〔運輸〕空運、海運、陸運、自動車
〔素材・建築物〕金属・鉱業、化学、建材、資本財、不動産管理・開発／〔農業・食料・林産物〕飲料・食品、農業、製紙・林業
※TCFDでは炭素関連資産のセクターをGICS(世界産業分類基準)によって4つのセクターに分類することを推奨しています。当金庫の与信残高に占める炭素関連資産の割合においては、GICSをベースに当金庫の業種分類と対応させ算出しています。

リスク管理

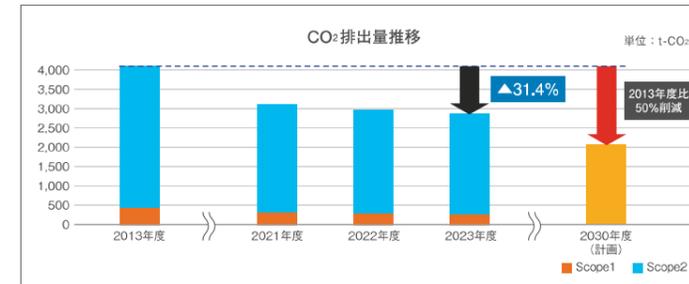
- 気候変動リスクが当金庫の事業・財務に大きな影響を及ぼす可能性があることを認識しております。
- 環境や社会に影響を与える投融資について留意してまいります。
- 気候変動リスクは既存の各種リスクを増幅させるという点を考慮し、統合的リスク管理の枠組みにおける管理態勢の構築を検討してまいります。

指標と目標

●CO₂排出量削減目標

2050年カーボンニュートラル達成に向け、2030年度までにCO₂排出量(Scope1、Scope2)を2013年度比**50%**削減します

※Scope1: ガス、ガソリン等の燃焼による当金庫の直接排出 Scope2: 電気等の使用による間接排出



CO₂排出量においては、2023年度には2013年度比31.4%削減することができました。

〈削減に向けた取り組み〉

- 継続的な省エネ活動
- CO₂フリー電力の活用(2022年度より本店・本部ビルに導入済み)
- 店舗のLED化等

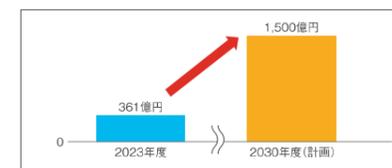
※本部・事務センターにおけるガソリンの使用によるCO₂排出量は2021年度より含めていません。

●金庫をあげた省エネ運動「へきしんカーボンニュートラルチャレンジ2030」を実施

CO₂排出量削減目標達成に向け、「電気」「ガス」「ガソリン」使用量の前年度比1%削減及び各部・各店が個別活動目標を設定し、全職員一人ひとりが日常業務における省エネ行動をすることで、CO₂排出量の削減に取り組んでおります。

●サステナブルファイナンスの目標と実績

2030年度までのサステナブルファイナンス実行目標は1,500億円といたします



	累計実行額(2024年3月末実績)
サステナブルファイナンス	36,173百万円
うち環境分野	17,024百万円

※サステナブルファイナンスとは…持続可能な社会を実現するための資金供給のこと。SDGsやESG関連の取り組みを支援する投融資を含みます。

(注) TCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosures) 主要国の中央銀行・金融監督局等が参加する国際組織「金融安定理事会」によって設立。気候変動による財務上の影響を分析・開示することを推奨しています。

